

# 点検ハンマー

第9号 発行日 2010年 6月27日 発 責 石尾 光春・編 集 地本車技常任委員会

## 不審者はどこに消えたのか？

### 立ち去ったのか？！

6月23日13時頃、庫5番線から着発25番線に入換え作業が終了し、停車したB11編成の1号車運転台から、ヘルメットを被っていない、研修の白腕章もしていない7～8名が運転台から降り去った？ 15時20分頃、その光景をずっと気になっていた社員が入換えを担当した社員に聞いたが、操縦者も聞かれて初めて乗り込んでいたことを知った。直ぐに、列車・検修当直に問合せをしたが、「連絡はきていない。判らない。」との回答。

「不審者」の可能性は、この日、朝から13時まで組替線で現車訓練をしていた「運用指令員」ではあると思われるが、列車・検修当直に連絡もせず勝手に乗り込んだのか？ もし訓練生だとしても、入換え車両の後部運転台では「乗り込み中に起動」することがあり、重大な傷害事故になる可能性があった！

また運転台出入戸の鎖錠はどうなったのか！？ 操縦者はチェック表が義務化されている！

この間、運転台出入戸の鎖錠失念が何件かあったが、今回のように、連絡もせず勝手に乗り込み、知らないうちに降り去って行ったのでは、何かあれば、すべて操縦者やSMTの社員が責任を取らされるのである！

組替線で訓練が終わり、着発まで歩くのが面倒くさいと思った訓練者たちが連絡もせず勝手に庫5番線のB11編成に乗り込んだのか？ 管理者・指導員はいなかったのか？ 「指令」なら何をしてしても許されるのか？

数億円もの大金を大井基地のセキュリティ強化に費やして、今回の事態はどういうことなのか！？

**会社は今回の「不審者」を調査して、掲示で全社員に明らかにせよ！！**